

2008年

11月29日[土]・30日[日]

金沢大学

角間キャンパス北地区

11月29日[土] 口頭発表・ワークショップ

11月30日[日] 公開講演、ポスター発表、公開シンポジウム

11月30日[日]

公開講演・公開シンポジウム

(どなたでも聴講できます)

公開講演

10:00～12:05 人間社会第1講義棟101講義室

朝鮮漢字音アクセントの 歴史的発展と類推変化

伊藤智ゆき (東京外国語大学)

フィリピン言語学の現在

北野浩章 (愛知教育大学)

公開シンポジウム

13:10～15:40 人間社会第1講義棟101講義室

言語変化のモデル

発題—上原聡 (東北大学)

真田治子 (埼玉学園大学)

橋本敬 (北陸先端科学技術大学院大学)

ナロック ハイコ (東北大学)

司会—時本真吾 (目白大学)

会場

金沢大学・角間キャンパス北地区 (石川県金沢市)

JR北陸本線「金沢」駅東口から北陸鉄道バス利用・終点「金沢大学」下車

※会場へのアクセス方法は、金沢大学ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/>

日本語学会

The Linguistic
Society
of Japan

第137回大会

11月29日[土]

口頭発表・ワークショップ

13:00～18:00 人間社会第1講義棟1・2・3階

口頭発表

- 連接名詞句の「擬似的」選言解釈——田中大輝ほか
- トートロジーにおける「言われていること」と「含意されていること」の反転——酒井智宏
- 英語の語形成とV-A型の結果表現——長野明子ほか
- Qualiaを用いた英語形容詞の意味分析——宮田洋介
- Motivations behind *face-work* by native Japanese speakers in conflict situations between self and other——KIYAMA Sachikoほか
- 文理解における情報構造と統語構造の交互作用が生じるタイミングについて——今村怜ほか
- 日本語母語幼児のとりたてた詞「だけ」の解釈における目的語指向性——白畑知彦ほか
- Taya語の属格名詞と語順の普遍性——時崎久夫ほか
- スワヒリ語の語順と接尾辞の出没——桑名保智
- バントゥ諸語における適用形動詞の類型と目的語対称性——品川大輔ほか
- 名詞句に「主要部」という概念は必要か？——河内一博
- モンゴル語の動詞語尾-jeeと-laaについて——ジンガン
- モンゴル語の補助動詞構造《V-CVB ög-》について——スチンガル
- モンゴル語の受身接辞-GDを伴う動詞の意味——梅谷博之
- 保安語積石山方言における存在の助動詞vi/vaについて——佐藤暢治
- Empty nuclei in Nivkh——SHIRAIISHI Hidetoshi
- シベ語の語り(narrative)における補助動詞biの機能と視点——児倉徳和
- ツングース祖語における接近音について——風間伸次郎
- アナトリア祖語とモーラ——吉田和彦
- 朝鮮語江陵方言のアクセント——孫在賢
- 中国黒龍江省尚志市で話される朝鮮語のアクセント——李文淑
- 長崎二型音調の音声実現に関する予備的検討——松浦年男
- 山口方言の撥音と長音を含む語の産出におけるアクセント核の有無と発音持続時間に関する世代間比較——池田史子ほか
- 日本語の外来語アクセントに対する構文文法的アプローチ——儀利古幹雄ほか
- 南琉球宮古伊良部島方言におけるフット構造——下地理則
- 小林方言における音韻句の形成と統語構造の関わりについて——佐藤久美子
- 日本語の韻律句境界とフォーカス——倉橋農
- トルコ語とウズベク語の疑問接語ml/miは文法的に異質か——吉村大樹
- アミ語の態——今西一太
- ラマホロット語の方向表現——長屋尚典
- On the distribution of nominative and genitive case in modern Bengali——Hideki MAKIほか
- 現代アイスランド語の“New” impersonal構文における対格名詞句について——大宮康一
- The comparative construction in modern Irish——Dónall P.Ó BAOILLほか
- 古サルデーニャ語における完了形の形成法の移行について——金澤雄介
- エストニア語の動詞pruukima「必要だ；用いる」の多義性——松村一登
- 日本語の「なるまで」構文分析——石井創
- 分裂文としての「のだ」文——備瀬優
- 日本語軽動詞構文における項構造と2つの対格制約——内芝慎也
- The amount of an event in the Japanese Floating Quantifier Construction——HOSOI Hironobu
- 意味的再帰性条件(“Condition R”)再考——三浦秀松
- 再構築現象における順序効果と抽出領域の形成——小町将之
- 関係節構文における量化詞の作用域の再構築効果について——稲田俊一郎
- エヴェ語のロゴフォリック代名詞——西垣内泰介ほか

ワークショップ

- 名詞化辞「の」と「ぬ」の交替現象
堀江薫、仁科明、吉村紀子、青木博史
- 日本語におけるガ・ノ交替現象
中井悟、原田なをみ、越智正男、小熊猛、祐伯敦史
- 形容詞の特質をめぐって
龍城正明、綾野誠紀、藤田透、佐々木真
- 《所有者受動》再考
鷲尾龍一、齊木美知世、生越直樹、梅谷博之
- 英語と日本語の好まれる事態把握
谷みゆき、井上逸兵、出原健一、八木橋宏勇、多々良直弘

11月30日[日]

ポスター発表

11:30～13:00 人間社会第1講義棟202・203講義室

ポスター発表

- Influence of first-element and dialect region on voice-or-voiceless decisions of *shoochuu*——TAMAOKA Katsuoほか
- 外国語のコミュニケーション能力を高める共生的アプローチ——水野晴光
- 韓国語助動詞citaの分析に基づく多義性の決定過程モデル——円山拓子
- ヒンディー語とムラブリ語の属格所有表現——今村泰也ほか
- 事態把握の観点から見た一人称主体の「ト思っている」表現——林佩怡ほか

特別展示「フロンティアからの眼差しPart 2」(企画：危機言語小委員会)

- マア語の2つの変種内の「バントゥ化」——安部麻矢
- ティディム・チン語の人称標示——大塚行誠
- プラン族の動物世界——山田敦士
- 方言差をどう「書く」か——山田祥子

詳細は日本語学会ホームページへ

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ljsj2/>